

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		簡易点検	
事務事業名		シナー・覚醒剤等乱用防止啓発事業		A 一般事務事業	
担当部署名		健康福祉 局 健康部 保健所 部 環境薬務 課		シート番号 11-246	
		評価責任者(課長名)		野田	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	昭和 58 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	大阪府麻薬覚せい剤等対策本部要綱			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	麻薬、覚せい剤、シナー等の薬物乱用防止対策に関して、行政、警察及び教育等の関係組織で構成されている大阪府麻薬覚せい剤等対策本部に属し、『大阪薬物乱用「ダメ。ゼッタイ。」第四次戦略』に基づき、市民(特に青少年)を対象に薬物乱用防止啓発活動を実施する。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	市民が危険ドラッグを含む乱用薬物に対する正しい知識を身につけ、健康に悪影響を及ぼす薬物乱用が原因の事件・事故等のない健全な市を実現し、市民の健康が守られること。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<ul style="list-style-type: none"> 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動期間(6月20日から7月19日)中に、大阪府とともに、街頭キャンペーンによる啓発 各区域で行われる「区民まつり」等で、パネル・映像・グッズを使用したクイズによる啓発 市内学校で薬物乱用防止教室を開催するにあたって、要望に応じて啓発DVD(ビデオ)やパネルの貸し出し・啓発冊子の提供 広報紙・ホームページ等での啓発 			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

Ⅲ. 投入量

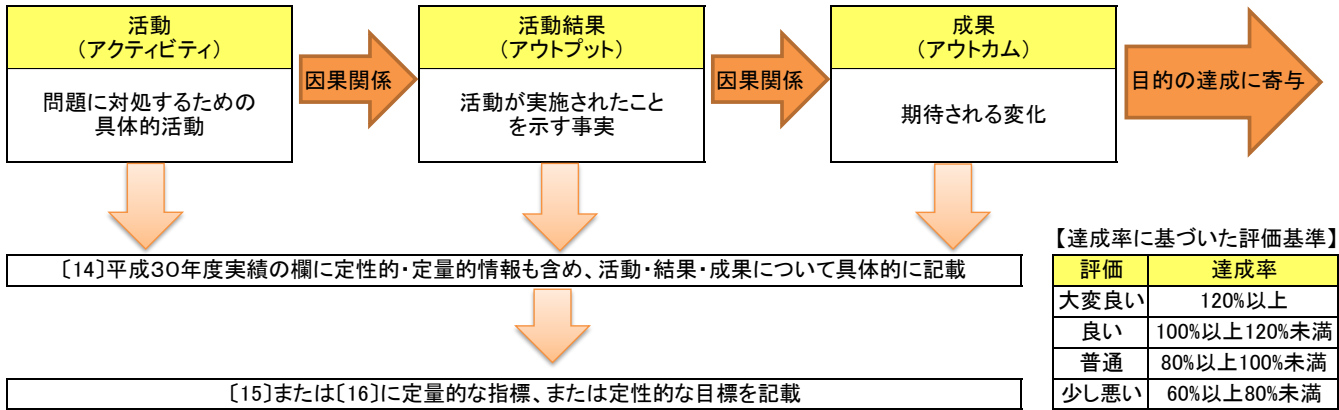
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	1,225	1,239	1,172	1,290	
	主な事業費内訳	啓発資材等	千円	708	727	654	710
		啓発冊子・リーフレットの作成	千円	500	499	506	560
		会議等出張旅費	千円	17	14	13	20
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
	12 人件費 (b)	千円	6,396	6,572	6,572	7,857	
	13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	7,621	7,811	7,744	9,147	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	シンナー・覚醒剤等乱用防止啓発事業	シート番号	11-246
-------	-------------------	-------	--------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>・泉北高速鉄道泉ヶ丘駅前にて、6月26日に街頭キャンペーン活動を行い、リーフレットを2,000部配布した。(「ダメ。ゼッタイ。」普及啓発期間6月20日から7月19日)</p> <p>・市内7か所で行われた区民まつりにおいて、計3,997人に対し、パネル・映像・クイズによる啓発を行い、クイズ解答後一人ひとり個別に解説を行った。</p> <p>・市内学校で開催される薬物乱用防止教室において、要望に応じて啓発DVDやパネルの貸し出し、啓発冊子等の提供を行った。</p> <p>・市内大学に対して、新入生等への啓発のため、啓発資料の配布を依頼した。</p> <p>・5月1日～6月30日に不正大麻けし撲滅運動としてパネル及びポスター掲示、6月20日～7月19日に「ダメ。ゼッタイ。」普及活動としてパネル展示、エレベーターインフォメーション、懸垂幕及びポスター掲示、広報さかい掲載、10月1日～11月30日に麻薬・覚醒剤乱用防止運動としてエレベーターインフォメーション、懸垂幕及びポスター掲示、広報さかい掲載を実施した。</p>						
		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		啓発リーフレット、冊子等の提供総数	枚	目標値	12,000	12,000	12,000	12,000
				実績値	15,535	17,823	21,053	
				達成率	129%	149%	175%	
				評価	大変良い	大変良い	大変良い	
		算出方法・設定根拠など		街頭キャンペーン・区民まつり・パネル展示等での配布数及び学校等への提供数				
		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		啓発クイズの解説を行い、正しい知識を普及啓発した人数	人	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500
				実績値	4,348	3,167	3,997	
				達成率	174%	127%	160%	
				評価	大変良い	大変良い	大変良い	
		算出方法・設定根拠など		啓発クイズ解答後、一人ひとり個別に解説を行った人数				

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
17	小学校から高校まで、啓発資料の情報を提供することによって、多くの学校において薬物乱用防止教室で啓発資料を利用してもらい、啓発活動の一役を担うことができた。区民まつりでは、来場している市民に積極的に声かけをし、クイズや啓発資料を通して多くの青少年及びその保護者への啓発に寄与できた。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。